



### 善意の心で住みよいまちへ

兵庫県が定める6月1日の「善意の日」に合わせて、西脇建設業協会の皆さんや市職員OB会の市友会の皆さんが市内各所でせん定や草刈りなどの美化活動を実施しました。また、市上下水道協同組合の皆さんは「水道週間」にちなみ、無償で小中学校の水道施設の点検と修理を行いました。善意の日は「県民誰もが、この日何か一つの善行をしてもらいたい」との思いが込められています。〔市内〕



### 3千株のアジサイ—色鮮やかに

市あじさい協会の皆さんが整備する都麻乃郷あじさい園（坂本）が開園。北播磨最大規模を誇る1万2千平方メートルの園内では、見頃を迎えた3千株のアジサイがピンクや紫などに色づき、来園者の心を癒しています。また併設のTUMAこいカフェでは、期間限定であじさいヨーグルトゼリーやクリームソーダを提供。アジサイの苗の販売も行われ、連日多くの人でにぎわっています。〔6月16日～7月7日〕



### 織物の名物市、播博開催—県内外から1万人

播州織の振興と中心市街地の活性化を目的に「第5回播州織産地博覧会（播博）」が開催され、会場の市役所・市民交流施設オリナスから旧来住家住宅までの一帯に、県内外から約1万人が訪れました。播博は「織物のまちに、織物の名物市を！」を合言葉に、市民有志でつくる実行委員会が主催。西脇市や多可町にある播州織の産元商社や機屋、小売店など過去最多の34社が播州織の生地や製品を販売しました。また、播州織を使った小物づくりのワークショップや両市町の名物が味わえるキッチンカーの出店があり、家族連れがイベントを楽しみました。西脇高校生活情報科による播州織ファッションショーも開かれ、生徒たちが趣向を凝らして作った衣装を披露しました。〔5月26日／市内〕



### みらいえをキャンバスに

参加者はみらいえのロータリーをキャンバスに見立ててらくがきに夢中。チョークで色とりどりの花や動物、父の日にちなんでお父さんの似顔絵など思い思いの絵を描き、非日常な体験を楽しみました。〔6月16日〕



### 往年の名車が集結

市役所・市民交流施設オリナスに約100台のクラシックカーが集結。2日間にかけて県内各地を巡るイベント「コッパディ姫路」によるもので、一行がオリナスに到着すると、集まった観衆は拍手で歓迎しました。〔6月1日〕



### 中学生が職業体験

中学2年生が市内の飲食店や量販店、保育施設、公共施設など110カ所で、「トライやる・ウィーク」に参加。事業所の社員から指導を受けながら、働くことの楽しさや難しさを学びました。〔6月3日～7日／市内〕



### 播州織の振興願う

織物感謝祭が執り行われ、織物業界の代表者や片山象三市長らが出席。神事では製織の儀として、播州織工業組合、播州織産元協同組合、播州織整理加工協会から代表して3人の巫女が手機での機織りを披露したほか、関係者が祭殿に玉串を奉納し、播州織のさらなる活性化と振興を祈願しました。〔5月26日／機殿神社（西脇）〕



### 善行をたたえ—市民さわやか賞

市では善行のあった個人と団体に「市民さわやか賞」を贈呈しています。今年度の受賞者は▶大久保洋子さん（高田井町）＝おりひめ体操の実施を支援▶高田井町子ども見守り隊＝子どもの見守りを実施▶明楽寺町子ども見守り隊＝子どもの見守りを実施▶大正琴加杉野＝大正琴の演奏を通じて高齢者や地域と交流。〔6月3日／市役所〕